



題名 広島平和記念式典派遣事業に参加して考えること。

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 筑井 涼羽

私はこの事業に参加したことで、戦争と核兵器、人々の暮らしについての知識を深めることができましたと思います。また実際に式典に参加したり、資料館でたくさんの資料を見たりして日本の戦争の歴史にくわしくふれることで、戦争はいけないことだ、二度と起こしてはいけないという思いがさらに強くなりました。これらの思いを戦争や核のない世界を目指すために、より多くの人に伝えて共有していこうと思います。戦争のない平和な日々の尊さを広島に行って感じることができました。普段は意識することのないものをよく考える貴重な三日間になりました。

題名 ロシアのウクライナ侵攻に対して考えること。

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 筑井 涼羽

テレビで一般の人々が志願して兵になろうとしているニュースを見て、驚きました。自分の仕事や、役割ではないのに、命の危険をおかしてまで、国を守りたいという思いや、行動力に大きな衝撃を受けたからです。命を懸けて行動することはとてもすごいことだと思いました。ですが、命を懸けているものが「戦争」という現実には、とても悲しい気持ちになりました。そして、このような人々の気持ちを、もっと違うものに専念できるような世界になってほしい、「戦争」にしばらく生きられる世界になってほしいと思いました。

題名 今日ある日本の平和について考えること。

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 筑井 涼羽

今は、日本人の多くが、不自由のない日々を送っていると思います。ですが、日本人の一部の人は国同士の問題や、他国の行動に苦しんでいます。これは平和とは言えないと思います。多くの国が核兵器を作ったり、独自の考えで日本の領土を支配していたりする今、日本の平和はいつ壊されるか分からない状況にあります。問題は、戦争を起こす武力では解決しません。自分と相手の意見を聞き、話し合う努力が、問題を解決していくのです。日々の中に、まだおそろしい恐怖がひそんでいると思います。

題名 あなたにとって「平和な社会」とは何か、「平和な社会」を実現するために必要なこと。

鹿沼市立南押原中学校 (氏名) 筑井 涼羽

私にとって、「平和な社会」は、人がお互いを認め合うことです。SNSや、インターネットが普及している今、武力とは違った形で問題が起こっています。それは、いじめや悪質なネットへの書き込み、差別などの人を精神的に苦しめることです。この問題を解決するためには、相手を理解することが必要です。LGBTは、ネットで取り上げられることで、多くの人々に知れ渡り、以前よりも理解が深まっていると思います。このように、理解を深めることで、相手のことが分かり認め合える「平和な社会」になるとと思います。